

地域おこし協力隊 活動報告

文化芸術振興部門 / 野津原地域

泊麻未

発表内容

- 1 自己紹介
- 2 任務内容
- 3 活動報告
 - 任務1 アートレジオン推進事業
 - 任務2 アートスキルを活かした地域活性化の企画・支援
- 4 個人活動
- 5 振り返りと今後の活動について

1 自己紹介



泊麻未（とまりあさみ）

- 1993年12月11日生まれ、宮崎県出身。
- 東京の大学を卒業後、ニューヨークへ1年ほど滞在。現地の美術館やギャラリー、美術系大学、シェアアトリエ、若手アーティストのコミュニティを巡りながら、アートを通じて形成される地域コミュニティの場を目の当たりにする。
- 帰国後、東京と宮崎を中心に「トマリアサミ」としてアート活動を行いながら、地域アートを経験できる場所を探していたところ、大分市の旧校舎アトリエの存在と協力隊募集を知る。
- 令和2年7月1日より協力隊として野津原に移住。

2 任務内容

泊 麻未（とまり あさみ） 隊員



- 令和2年7月1日 着任
- 文化振興課 所属
- 文化芸術振興部門

1. アートレジオン推進事業に関する業務（アトリエを始め旧校舎全体の管理、ワークショップの講師、アトリエ利用者や地域住民との連絡調整など）
2. アートのスキルを活かした地域活性化の企画・支援

文化芸術振興部門 文化振興課 所属

勤務先：ななせアートスタジオ
（旧野津原中部小学校アトリエ）

- 任務 1** アートレジオン推進事業に関する業務
- ・アトリエを始め旧校舎全体の管理
 - ・ワークショップの講師
 - ・アトリエ利用者や地域住民との連絡調整など

任務 2 アートのスキルを活かした地域活性化の企画・支援

▲大分市HP
協力隊紹介ページより

3 活動報告

そもそも

※アートレジオン推進事業とは

大分市HP
アートレジオン推進事業の
ページより一部抜粋

人口減少や少子高齢化が進む**周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み**、アートイベントや制作活動を通して**文化芸術の振興**を図るとともに、地域住民との交流を促進することで**地域の活性化**につなげる。



アートで地域を元気に！
大分市アートレジオン推進事業

事業の2本の柱

アーティストの移住・定住促進

地方への移住を考えているアーティストに対して、本市へ興味をもっていただくための各種取組を推進することで、潜在的な移住希望者の掘り起しを図る。また、**地域おこし協力隊と連携・協力を図り、任期後の定住につなげる。**

アートイベント開催による地域の活性化等

アーティストと地域が連携したアートイベントを開催し、市内外から参加してもらうことで文化芸術の振興・地域の活性化を図る。また、佐賀関地区の旧大志生木小学校と野津原地区の旧野津原中部小学校の校舎一部をアトリエとして活用するとともに、**地域とアーティストとの交流拠点とする。**

任務 1 アートレジオン推進事業に関する業務

- ・ 令和2年11月 「さかのせきアートコレクション」 → ロゴデザイン
 - ・ 令和2年11月 「第4回 開校！大志生木こどもアート学校」 → ワークショップ講師
 - ・ 令和2年12月 アトリエ愛称・ロゴ考案
 - ・ 令和3年3月 「第2回 開校！野津原こどもアート学校」
→ ディレクション、ワークショップ講師
-
- ・ アトリエ視察やアート体験の受入れ
 - ・ 公式SNSアカウントの発足と情報発信
 - ・ アトリエの管理（アトリエ利用者や地域との連絡調整）

「さかのせきアートコレクション」ロゴデザイン (令和2年11月)



- ・このイベントをいろいろな世代の方に気軽に楽しんでもらいたいと思い、展示会の会場である佐賀関にすいよせられる人々の様子をカジュアルなタッチで表現した。
- ・イベントの情報を発信するため佐賀関のアトリエに何度か取材に行った。「おおじゅうきアートスタジオ」の利用者と交流を深められた。

「第4回 開校！大志生木こどもアート学校」 ワークショップ講師 (令和2年11月)



- ・プランターからモンスターが生えている「ポットモンスターを作ろう」というワークショップを行い、最後には10名の参加者がつくった10匹の個性豊かなモンスターが出来上がった。
- ・海の見える校舎で、子ども、保護者、補助スタッフ、地域が一体となって1つの時間に集中する空間が印象的で、**アートを通じた地域おこしの可能性**を感じた。

アトリエ愛称・ロゴ考案

(令和2年12月)



- ・平日も休日もアトリエで過ごすので**利用者や地域の方との会話が増えた**。そんな中、**アトリエに愛称やロゴがある**ともっと親しみやすくなるのではないかと考えた。
- ・地域の方に耳馴染みのある言葉などを調査し、「おおじゅうきアートスタジオ」（佐賀関）「ななせアートスタジオ」（野津原）という案に達した。
- ・ロゴについて、3本の線でそれぞれ佐賀関の海と、野津原の山々を表現。小学校の椅子や絵筆、魚（佐賀関）や輝く星々（野津原）をモチーフに**自然の中で地域に溶け込みながら存在するアトリエ**をイメージ。
- ・今後、SNSでの発信やイベントの告知に使用。

「第2回 開校！野津原こどもアート学校」 ディレクション&ワークショップ講師 (令和3年3月)

遊ぶ・ARTする・学ぶ

参加 無料

野津原こどもアート学校

2021年 3月20日(土)・21日(日)
時間 10:00~17:00
会場 旧野津原中部小学校

アーティストによるワークショップ / 体験型アートスペース
アーティストのアトリエ公開や作品展示 / 開催のおもてなし

ワークショップ

1限目	3/20(土)	3/21(日)
10:00 ↓ 12:00	講師: 工藤真由子 手作りのアバターで、 アニメーションを 作りよう!	講師: 渡部 孝 ピクニック シートを作ろう
13:00 ↓ 15:00	講師: マリアナ モンスタースタールに せみりょうせれる 小物置き!	講師: 山崎 真二 雨の日に楽しく、 家のストラップを 作ろう!

「親子マタラウ(ゴルフ)」
開催にあわせて、親子で楽しむマタラウ(ゴルフ)を開催。参加費は無料です。
開催場所は、旧野津原中部小学校の体育館です。

主催: 大分市 / お問い合わせ: 097-537-5663(大分市文化振興課)

<アートゾーン>

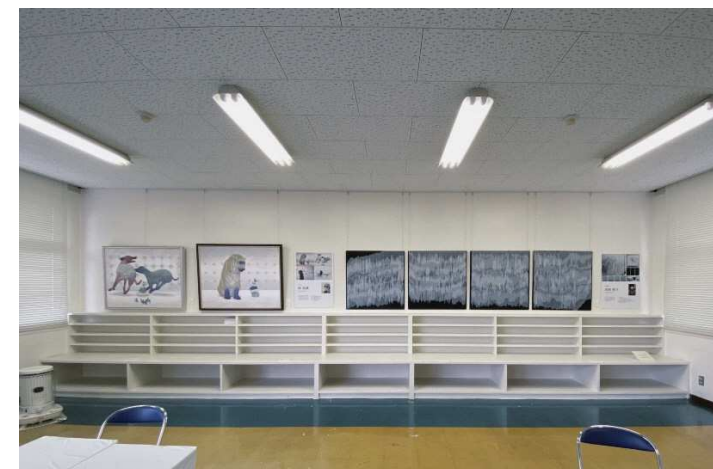
- アトリエ利用者によるワークショップ
- ゲストアーティストによる体験型アートスペース
- アトリエ公開
- ランチルームギャラリーでの展示

<地域ゾーン>

- 地域のママさんチームによる工作教室
- 親子でグラウンドゴルフ体験
- 地域のパン屋出店
- 地域の方による飲み物ののおもてなし
- 地域おこし協力隊による野津原PRブース

実施実績：約200名来場（2日間）

野津原こどもアート学校 <アートゾーン>



●アトリエ利用者によるワークショップ

●体験型アートスペース

●ランチルームギャラリー

野津原子どもアート学校 <地域ゾーン>



●地域のママさんチームによる工作教室



●親子でグラウンドゴルフ体験



●地域のパン屋出店



●地域の方々による飲み物のおもてなし



●地域おこし協力隊による野津原PRブース



SNS運用 (令和2年9月～)

- 「大分市旧小学校アトリエ公式」フェイスブック、ツイッター、インスタグラムをスタート。

フェイスブック ▶ フォロワー 48人 最高リーチ 2149 (12月河原内こどもアート学校②)
 ツイッター ▶ フォロワー 38人 最高リーチ 2291 (9月「ななせアートスタジオ」紹介)
 インスタグラム ▶ フォロワー 84人 最高リーチ 243 (9月「ななせアートスタジオ」の紹介)

(データは全て令和3年6月現在)



●アトリエ利用者紹介



●アトリエの紹介・日常



●アートレジオン関連のイベントを自分目線から紹介

アトリエ視察・アート体験の受入れ

令和2年11月

- 竹田市地域おこし協力隊（職員含め2名）
- 大分国際情報高校美術部（顧問含め5名）
- 三重県鳥羽市教育委員会生涯学習課（2名）

令和2年12月

- 大分大学 地域連携プラットフォーム推進機構
「地域ブランディング」視察（引率含め20名程度）

「地域ブランディング」
最終発表会チーム写真▶
（令和2年12月）
泊のアート作品とともに
学生と記念撮影。



大分大学
地域連携プラットフォーム推進機構

（後期集中）高度化①地域ブランディング2回目
🕒 2020/10/20 👁 552VIEWS

令和2年10月17日（土）、高度化①「地域ブランディング」2日目を行いました。2日目は、現地（大分市野津原）にてフィールドワークを行いました。

当日の様子

旧野津原中部小学校視察

芸術家様の取組調査1

芸術家様の取組調査2

▲大分大学 地域連携プラットフォーム推進機構
「活動報告」のページより

アートレジオン推進事業関連
今後の予定

●令和3年8月21日（土）・22日（日）

「第3回 開校！野津原こどもアート学校」（予定）

→前回関わっていただいた地域の方々が継続して参加予定

●令和3年8月18日（水）～9月20日（月・祝）

「のつはるアートコレクション」（予定）

→「ななせアートスタジオ」利用者とゲストによる野津原を舞台とした展覧会。

→アーティストと作品の打合せ、作品を設置する場所を選定、地元との調整、視察の同行など。

「ハロー、のつはる」のテーマのもと、地域密着型の芸術祭を目指す。

任務2 アートスキルを活かした地域活性化の企画・支援

- 令和2年9月 「のつはる音の森フェスティバル」ロゴ原案
のつはる魅カブース担当
- 令和2年9月 エコアートスペース開始
- 令和3年2月 野津原小学校3年生へ出前アート授業
- 令和3年2月 「ななせアートスタジオ」地元高校生と水道ペイント
- 令和3年3月 「野津原でアートを発見！ポスター」作製
- 令和3年4月 大分県日出町のファミリーホームの子どもたちへアート体験

「のっはる音の森フェスティバル」ロゴ原案 のっはる魅カブース (令和2年9月)



● ロゴ

- ・ 野津原に来て最初の仕事
- ・ **原案を担当し、委託先のデザイナーが描き起こした**



▲画像は協力隊公式Facebook
藤丸隊員の記事より



● のっはる魅カブース

- ・ 来場者に野津原の魅力をPRするため、藤丸隊員がメインで制作した**野津原オリジナルポスターを展示**

エコアトスペース (校長室)

(令和2年9月～)

- ・ 廃材や画材、アートアイデア集がストックされていて**地域の方が自由に利用できる**。
- ・ より多くの方に利用していただけるパワーアップした内容を計画中。



野津原小学校へ出前アート授業

(令和3年2月)



- ・「デザイン」と「販促ツール」をテーマにした授業
- ・対象は野津原小学校3年生21名
- ・小学生はこの授業で学んだことをもとに小学生×商工会コラボの「のつはる季節クッキー（仮）」のパッケージデザインに挑戦



地元高校生と水道ペイント（令和3年2月）



- ・スタジオの水道のペンキが剥がれてきていたため、地元の高校生と一緒に塗りなおしを実施
- ・もともとあった絵を描いた当時の4名の卒業生には地元の方の協力で全員に連絡し了承を得た
- ・野津原で育った高校生が考えた「一面に広がる菜の花と星空」をモチーフにしたデザイン
- ・地域の方に「水道がきれいになり気持ちよくなった」と言っていた

「野津原でアートを発見！」ポスター（令和3年3月）

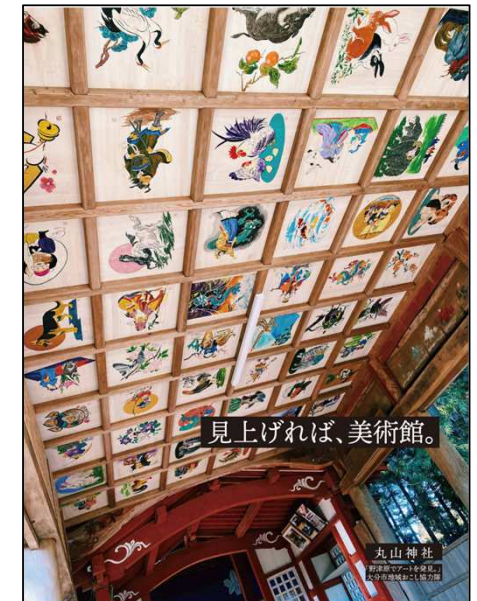
- ・ 「アート」という新たな側面から野津原をPR
- ・ 野津原にあるアートを感じるスポットを3か所ピックアップ
- ・ 「第2回開校！のつはるこどもアート学校」にて展示



恵良・七瀬橋のレリーフ



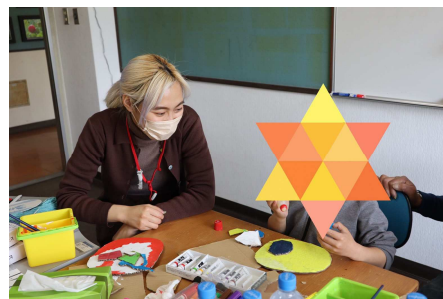
今市石畳のレリーフ



丸山神社の
天井画

アトリエ視察・アート体験の受入れ（令和3年4月）

- ・ 日出町にあるファミリーホームの子ども5名と養育者3名
- ・ 廃材を活用したワークショップを実施
- ・ 穏やかな自然の中で、子どもたちは集中して作品と向き合い楽しんでいた



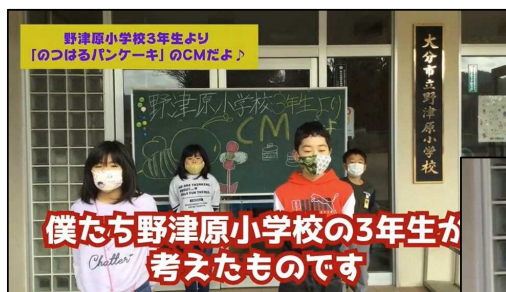
ファミリーホーム
公式HPブログ
「里海ホームの日々」
でも紹介されています▶

工作が大好きなA男とJ男は飛びつくように制作し始めました。

はじめ、「自由につくる」という作業に上手く取り組めるかなあ、と不安でしたが、みんなが思い思いの作品を、とても集中して制作していました。

地域のお手伝い（簡単な映像編集）

- ・ 令和3年1月 「のつはるパンケーキ」CM編集（商工会×小学生）
野津原小学校3年生がつくった「のつはるパンケーキ」をPRする動画にテロップを入れてほしいと依頼があった。出来上がった映像は大変喜んでもらった。道の駅のつはるのモニターにて放映。
- ・ 令和3年9月～ 「豊の七瀬柿 学習ビデオ」編集（制作：野津原公民館）
野津原公民館が制作する「豊の七瀬柿」の学習ビデオを編集面でお手伝い。取材への同行、内容の構成、映像の編集、動画内に登場するキャラクター（原案：公民館）の描き起こしなど。※2021年夏完成予定



4 個人活動

(卒業後へ向けて)

個人活動

- ・ 令和2年10月～ Youtubeチャンネル「移住NOTSUHARU」開始
- ・ 令和3年2月 「市内で活動するアーティストが制作した「アマビエ」待ち受け&しおり」参加 イラストカット制作
- ・ 令和3年2月 「大分市アートを活かしたまちづくり事業」シャッターアート制作（大分市、ギャラリー竹町）
- ・ 令和2年12月 野津原イラストカット制作
- ・ 令和3年5月～ 「海舟・竜馬 思索の道」ルート紹介映像編集
- ・ アートに関する研修に積極的に参加（Zoomなど）

Youtubeチャンネル「移住NOTSUHARU」 (令和2年10月～)

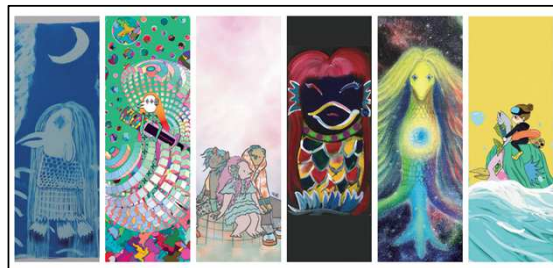
移住
のつはる

- ・ 野津原のおすすめスポットや、大分市/野津原に移住してみたのリアルを発信
- ・ 動画制作を通してカメラの前でのトーク、取材、企画構成、撮影や編集など情報発信に必要なスキルを身に付けていくことも目的
- ・ 内容は協力隊OBが育てた芋で焼き芋/他市の協力隊と交流/野津原の新商品を紹介/移住トークなど
- ・ 「道の駅のつはるを60秒でPRしてみた」動画など、いくつかの動画が道の駅のつはる公式HPに掲載



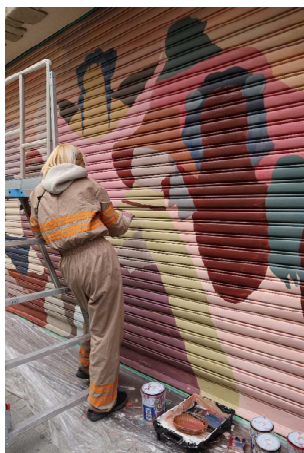
「市内で活動するアーティストが制作した アマビエ待ち受け&しおり」参加（令和3年2月）

- ・ 企画部広聴広報課が実施している「市内で活動するアーティストが制作した「アマビエ」待ち受けとしおり」第3弾に参加
- ・ アートレジオンのほとんどのアーティストが参加している
- ・ **アーティストの支援や広報に繋がるのでありがたい**



ギャラリー竹町商店街シャッターアート (令和3年2月)

- ・「大分市アートを活かしたまちづくり事業」の一環
- ・週末を利用して1カ月ほどで完成。たくさんの方に温かい言葉や差し入れをいただいた絵が出来上がっていくのを楽しみに毎週末わざわざ見に来てくれた方もいた
- ・令和3年2月23日(火)アートプラザにて行われたアーティストトークに参加した大分市美術館菅館長をコーディネーターに、同事業で壁画を制作された前田さん(美術家)と「おおじゅうきアートスタジオ」利用者のKanaさん(美術家)とで、完成発表も兼ねて「まちづくり×アート」という観点からトークセッションを行った



5 振り返りと今後について

協力隊としてどのような1年だったか

- ・「野津原」や「協力隊」への理解を深めることができた。
「アートレジオン推進事業」に関する業務やイベントを一通り経験できた。
- ・アトリエ利用者や地域の方々、他の協力隊との交流を深め、
なにが求められているかを聞いてイベントなどを通して少しずつ実現できた。

協力隊として貢献できていると感じる点

- ・アトリエ利用者と地域を繋げることができた。
例：地域に関する情報をアトリエ利用者に提供
地域の方に提供していただいた廃材をアーティストが作品に活用する
作品設置場所のアドバイスを地域の方にいただく
- ・行政だけではなかなか難しい、アトリエと地域交流の部分や、地域性を加味したコンセプトの設定を進められた。

協力隊活動で苦戦したこと

- ・方言が聞き取れなかった。→1年経ってだいぶ慣れてきた。
- ・書類の作成、事務処理。→担当職員や支所職員にカバーしてもらっている。
- ・ディレクター・デザイン業務。
→行政が主催する事業であることを把握すること、大分のアートシーンを的確に把握すること、作品設置の経験、アートの分野・予算・保険に関する専門的知識も必要。
協力隊としてどこまで行えるか線引きが難しい部分もあった。
- ・アトリエ利用者とのコミュニケーション。
→それぞれアートの分野や制作スタイル、アートに対する価値観、アトリエの利用時間が異なる。業務/プライベート関係なくアトリエ利用者とのやりとりに時間を費やすことになった。協力隊が着任していない「おおじゅうきアートスタジオ」との連携も今後検討が必要。

個人的に「協力隊になって良かった」と感じる点

経験とアート環境！

- ・ **アートディレクション**や**デザイン**の経験をさせてもらっている（着任当初ほぼ未経験）。
- ・ 協力隊として期待していた**地域資源活用の実践**、**アートを通じた地域コミュニティの場の実践**を経験させてもらっている。
- ・ 音や匂いを気にする必要のない**アトリエでのびのびと制作**ができる。**シェアアトリエの恩恵**である他アーティストや地元の人からのインスピレーションやモチベーションをたくさんもらっている。
- ・ シャッターアートやアマビエのイラストカットなど、協力隊として「ななせアートスタジオ」に所属しているからこそいただけた**お仕事**があった。
- ・ **協力隊ネットワーク**でいろんな土地のいろんなジャンルの方と繋がることができる。

改善点と目標（協力隊として個人として）

- ・ 1つのイベントで**プレイヤーと裏方**（例：ワークショップ講師とディレクション）を同時に行うのが難しかった。

今後はケースバイケースで講師や作品展示より、デザインやディレクションの役の方が貢献できると判断すればそちらに力を注ぐ。その分、時間外での制作や作品発表が卒業後のアーティスト活動の肝になるので計画を立てて積極的に行っていく。

- ・ 生活が野津原と大分市役所で完結してしまっていた。

コロナの様子を見ながら、**卒業後に繋がる情報収集や交流の機会を増やしたい。**

- ・ 現在の業務を**引き継げるように**しておく。

最後までご清聴ありがとうございました



大分市地域おこし協力隊（2021年6月）
大南支所の前にて